

鶴ヶ島市立南

小学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
学校教育目標・教育方針 ①	教職員	学校は、学校教育目標や教育方針を作成するに当たり、保護者や地域の実態・ニーズを踏まえて設定している。	①46% ②54% ③④⑤0%	評価結果についての分析・課題 ・教育目標や教育方針を設定するにあたり、保護者からはおおむねよい評価をいただいていることに対して教職員は保護者や地域のニーズをふまえていないと考えている割合が高い。今後も教職員や保護者、地域の声や考えをさらに聞きながら設定していく必要がある。
	児童			課題解決への方策 ・コロナ禍の中で、公開の機会が少なくなっているが、授業参観や学校公開日等、できる機会を逃さずに行っていくこと、地域に関しては学校運営協議会をさらに充実させ、家庭や地域のニーズについての情報収集に努める。また、教職員、PTAに対しては校長から学校運営に対するビジョンを聞き、それに対する考えをまとめていく機会を持ち、来年度に反映させていく取組を行った。
	保護者	学校は、保護者のニーズをとらえて学校教育目標や教育方針を設定している。	①22% ②69% ③9% ④2% ⑤0%	学校関係者評価委員会による評価 ・一人一人の教員が保護者、地域から直接ニーズをくみ取れるといいのではないかな。
	地域	学校は、地域の声を反映して学校教育目標や教育方針を設定している。	①50% ②50% ③④⑤0%	

鶴ヶ島市立南

小学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
学校教育目標・教育方針 ②	教職員	学校は、学校教育目標や教育方針を、保護者や地域住民に広く周知している。	①68% ②32% ③0% ④0% ⑤0%	評価結果についての分析・課題 ・学校教育目標についてあまり知らないと答える児童の割合が昨年度より増えている。お話朝会や学校だより、学級懇談会等で説明してきているが、さらに浸透していくよう、情報発信の方法を改善していく。
	児童	私は、学校教育目標を知っている。	①67% ②20% ③7% ④7% ⑤0%	課題解決への方策 ・学校だより、学校ホームページ等での発信を今後も続けていくとともに、さまざまな行事や公開の機会に学校教育目標や学校経営方針などについて具体的な児童の姿と関連付けて取り上げ、浸透を図っていく。
	保護者	学校の教育目標や教育方針について、プリントで読んだり説明を受けたりしたことがある。	①52% ②43% ③5% ④0% ⑤0%	学校関係者評価委員会による評価 ・目標、方針を浸透させる工夫をしている様子がわかる。
	地域	学校の教育目標や教育方針について、プリントで読んだり説明を受けたりしたことがある。	①100% ②0% ③0% ④0% ⑤0%	

鶴ヶ島市立南

小学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
教育課程・学習指導 ③	教職員	教職員は、わかりやすく工夫した授業を行っている。	①16% ②68% ③16% ④0% ⑤0%	評価結果についての分析・課題 ・おおむね肯定的な評価が得られている。さらにわかりやすく工夫した授業に向け、授業研究、授業改善に取り組んでいく。
	児童	先生方は、わかりやすく工夫した授業をしている。	①58% ②34% ③6% ④2% ⑤0%	課題解決への方策 ・1時間の授業では「ゴールの姿」を意識して授業展開を考えること、子ども達を誰一人取り残さないための授業改善に今後も取り組んでいく。
	保護者			学校関係者評価委員会による評価 ・自分に厳しく判断しているようだが、これは「もっとがんばらなければ」という前向きな考えでもあるので、やむを得ない部分もあるのではないか。 ・「わかりやすい授業」を補えるようにするのはどうか。
	地域			

鶴ヶ島市立南

小学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
教育課程・学習指導 ④	教職員	児童は、授業中話をよく聞き、落ち着いた態度で学習している。	①14% ②62% ③24% ④0% ⑤0%	評価結果についての分析・課題 ・昨年度に比べ、教職員、児童、保護者、地域すべてで③の「あまりそう思わない」の評価が増えている。コロナ禍での授業等での緊張感が緩くなってきたことも考えられるが、授業内容の改善と生徒指導面からのアプローチをうまく組み合わせ、すべての児童が落ち着いた態度で学習に取り組めるよう改善していく。
	児童	私は、授業中話をよく聞き、落ち着いた態度で学習している。	①38% ②45% ③15% ④2% ⑤0%	課題解決への方策 ・子ども達が集中して授業に取り組める課題の設定や発問の方法等、引き続き授業実践、改善に学校全体で取り組んでいく。また、保護者や地域に対して、学び合いの取組には授業中に教室を自由に移動したり、周りの席の児童と話をすることが多く、従来の「姿勢よく座り、ひたすらだまって話を聞く」スタイルとは違ってきていることも周知していく。
	保護者	児童は、授業中人の話をよく聞き、落ち着いた態度で学習している。	①10% ②64% ③22% ④5% ⑤0%	学校関係者評価委員会による評価 ・子どもへの期待が高いことの裏返しではないか。
	地域	児童は、授業中人の話をよく聞き、落ち着いた態度で学習している。	①50% ②50% ③0% ④0% ⑤0%	

鶴ヶ島市立南

小学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
生徒指導・規律ある態度 ⑤	教職員	教職員は、児童の問題行動等に対して、組織的に、毅然とした態度で対応している。	① 44% ② 52% ③ 4% ④ 50% ⑤ 0%	評価結果についての分析・課題 ・今年度は複数学年に特に配慮を要する児童がおり、全職員が空き時間に対応する等の事例が多かったため、教職員の評価が厳しくなっている。しかし組織的な対応は行っており、引き続き毎月の児童理解会議や毎週の情報交換等を通して児童の様子や指導についての共通理解を図っていく。
	児童	先生方は、いじめやトラブルなどの問題に対して、きちんと指導してくれる。	① 72% ② 23% ③ 4% ④ 50% ⑤ 0%	課題解決への方策 ・学校は問題行動に対し、一貫した指導方針に基づき組織で対応していく。 ・日ごろからの「報告・連絡・相談」を徹底し、様々な問題に対して全職員の共通認識、共通行動で対応していく。 ・児童のより良い成長のため、保護者・PTAをはじめ、様々な機関と必要に応じて連携していく。
	保護者	教職員は、児童が学校の決まりや集団生活・社会生活でのルールやマナーなどが守れるよう指導している。	① 32% ② 60% ③ 5% ④ 2% ⑤ 0%	学校関係者評価委員会による評価 ・先生方は時間を決めて行うわけではなく、その都度対応できているのでいい評価となっているのだと思う。
	地域			

鶴ヶ島市立南

小学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
生徒指導・規律ある態度 ⑥	教職員	児童は、学校の決まりを守り、学校生活を送っている。	①12% ②65% ③23% ④0% ⑤0%	評価結果についての分析・課題 ・具体的には「廊下歩行」「名札」「帽子」などのきまりについて課題がある児童もいるため、教職員の評価は厳しくなっている。 ・学校のきまりについての指導を繰り返し行い、より徹底していく必要がある。
	児童	私は学校のきまりを守り、学校生活を送っている。	①51% ②40% ③7% ④2% ⑤0%	課題解決への方策 ・その都度その都度、指導を繰り返していく。 ・どの程度できたら「できている」というのか、基準を子ども達にもはっきり伝え、その基準が達成できるよう指導を続けていく。
	保護者	児童は、学校のきまりを守り、学校生活を送っている。	①6% ②41% ③43% ④11% ⑤[値]	学校関係者評価委員会による評価 ・教職員、児童の感覚と保護者とのギャップがある。 ・学年相応に規律は守られていると思う。 ・移動の際は乱れることもあるが、個々はしっかり守られている。 ・保護者は厳しく見ることが多いのではないかな。
	地域	児童は、学校のきまりを守り、学校生活を送っている。	①43% ②57% ③0% ④0% ⑤0%	

鶴ヶ島市立南

小学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
生徒指導・規律ある態度 ⑦	教職員	児童は校内ですすんであいさつをしている。	①8% ②76% ③16% □① □② □③ □④ □⑤	評価結果についての分析・課題 ・あいさつは本校の大きな課題の一つである。校内でのあいさつは年々良くなってきているが、旗番等に出ている保護者の方々からは「こちらがあいさつをしても返ってこない」等のご意見を多々いただいている。児童は「自分はあいさつができています」と考えている（86%）が、大人が求めるあいさつの形と隔たりがあるため、評価が大きく違う結果となっていると思われる。
	児童	私は、すすんであいさつをしている。	①55% ②31% ③9% ④2% ⑤0% □① □② □③ □④ □⑤	課題解決への方策 ・大人が求めるあいさつの形と自分たちが考えるあいさつの違いについて話し、隔たりが少なくなっていくよう働きかける。 ・良くなってきていることは大いに褒め、引き続き繰り返しの指導を続けていく。 ・教師が率先垂範することを心掛ける。
	保護者	児童は、家族や近所の人にすすんであいさつをしている。	①6% ②41% ③42% ④11% □① □② □③ □④ □⑤	学校関係者評価委員会による評価 ・保護者から見ると「少し足りない」と感じている。 ・低学年と高学年では自信も違っているので、あいさつの質が違うのではないかな。 ・どこでもあいさつできればいいと思う。 ・地域性の問題もあり、知らない人にあいさつするのが難しいのではないかな。
	地域	児童は、地域の人にすすんであいさつをしている。	①14% ②64% ③21% □① □② □③ □④ □⑤	

鶴ヶ島市立南

小学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
全 安 ⑧	教職員	学校は、登下校時の交通安全・不審者対策に関わる安全対策に取り組んでいる。	①21% ②67% ③13% ④50% ⑤0%	評価結果についての分析・課題 ・保護者の方々やサザン支え合い協議会、青少年健全育成協議会、地域の方々にご協力いただき、取り組んできた成果である。
	児童	安全に、安心して登下校できる。	①72% ②19% ③7% ④2% ⑤0%	課題解決への方策 ・朝の登校、下校時の旗当番について保護者の方々から「負担が大きい」というご意見を多数いただいている。今後の当番についてはPTAとも話し合いの必要がある。
	保護者	学校は、保護者・地域住民と協力して、登下校の交通安全・不審者対策に関わる安全対策に取り組んでいる。	①42% ②52% ③5% ④0% ⑤0%	学校関係者評価委員会による評価 ・保護者や地域の見守りがしっかりできていると思う。 ・登下校の旗当番が「負担が大きい」ということは意外だった。時間なのか、回数なのか。
	地域	学校は、保護者・地域住民と協力して、登下校の交通安全・不審者対策に関わる安全対策に取り組んでいる。	①64% ②36% ③0% ④0% ⑤0%	

鶴ヶ島市立南

小学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
保護者・地域との連携 ⑨	教職員	学校は、情報を積極的に発信し、地域に根ざした、開かれた学校づくりに努めている。	①57% ②39% ③4%	評価結果についての分析・課題 ・概ね肯定的な評価が得られた。学校だよりや学校ホームページ、メール配信システム等を有効に利用できたと考える。 ・学級懇談会に参加していただける保護者の数がどの学年も少なく、担任の考えや思いを十分に伝えられないことが課題である。
	児童			課題解決への方策 ・今後も学校からの情報発信の充実に努め、地域や保護者のニーズに応じていきたい。 ・地域での会議やPTAの会議等に出席し、学校の情報発信に努めていく。 ・学級懇談会に多くの方が参加していただけるよう、内容については改善していく。
	保護者	学校は、情報を積極的に発信し、地域に根ざした、開かれた学校づくりに努めている。	①32% ②59% ③7% ④2% ⑤0%	学校関係者評価委員会による評価 ・全体的には肯定的だが、保護者の①の数値を改善していく必要がある。 ・発信方法の検討（手元に確実に届けるためには）が必要である。
	地域	学校は、情報を積極的に発信し、地域に根ざした、開かれた学校づくりに努めている。	①57% ②43%	

鶴ヶ島市立南

小学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
保護者・地域との連携 ⑩	教職員	学校は、保護者・地域住民などの地域人材を教育活動に活用している。	①22% ②61% ③17% 0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100% □① □② □③ □④ □⑤	評価結果についての分析・課題 ・今年度もコロナ禍で校内に入っていただく機会が少なくなってしまった。コロナ禍が落ち着いてきたら例年通りに家庭科ボランティアや読み聞かせ等でご協力いただきたい。
	児童			課題解決への方策 ・学校運営協議会を中心に、地域人材をもっと活用できるよう要請していく。
	保護者	学校は、保護者・地域住民などの地域人材を教育活動に活用している。	①22% ②59% ③19% 0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100% □① □② □③ □④ □⑤	学校関係者評価委員会による評価 ・コロナ禍でボランティアの活動内容も変わってきた。 ・地域のボランティア≠人材活用
	地域	学校は、保護者・地域住民などの地域人材を教育活動に活用している。	①43% ②57% 0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100% □① □② □③ □④ □⑤	

鶴ヶ島市立南

小学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
学校環境⑪	教職員	学校は、清掃活動や掲示教育に力を入れるなど、組織的に環境美化に努めている。	① 33% ② 63% ③ 4% ④ 0% ⑤ 0%	評価結果についての分析・課題 ・あいさつと同様、児童は「きれいにしようと心掛けて清掃している」と思っているが、教職員としては「無言清掃」や清掃の仕方に課題があると感じており、大人が求めていることと児童が思っていることに隔たりがある。
	児童	私は学校をきれいにしようと心がけ、清掃をしている。	① 62% ② 31% ③ 6% ④ 1% ⑤ 0%	課題解決への方策 ・清掃の目的や取り組み方を繰り返し指導し、児童に達成感や充実感が感じられるような取り組み方を考えていく。
	保護者	学校は、清掃活動や掲示教育に力を入れ、環境美化に努めている。	① 24% ② 67% ③ 8% ④ 1% ⑤ 0%	学校関係者評価委員会による評価 ・コロナ禍で活動内容が変化している。
	地域	学校は、清掃活動や掲示教育に力を入れ、環境美化に努めている。	① 57% ② 43% ③ 0% ④ 0% ⑤ 0%	

鶴ヶ島市立南

小学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
働き方改革⑫	教職員	⑫学校は、働き方改革を進め、教科指導や教育相談等、直接児童に係る時間が増えるよう努めている。	0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100% ■① ■② ■③ ■④ ■⑤	評価結果についての分析・課題 ・意識はあるが、実際の仕事量も多く、なかなか働き方改革が進まない現状である。
	児童		0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100% ■① ■② ■③ ■④ ■⑤	課題解決への方策 ・学校運営協議会や地域の方々の方力もお借りしながら、仕事内容の精選を図っていく。
	保護者		0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100% ■① ■② ■③ ■④ ■⑤	学校関係者評価委員会による評価 ・「働き方」の定義は人それぞれである。 ・学校応援団を活用する。 ・効率的≠否定 ・外部の協力が必要。
	地域		0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100% ■① ■② ■③ ■④ ■⑤	